# 星間分子雲中での酸化エチレンの 生成反応の検証

筑波大学理工学群物理学類 4年 中村帆南

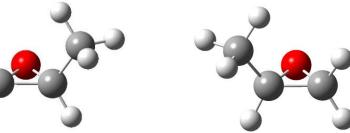
### 星間分子

- 星間分子雲
  - □星形成の場
  - □ 星間分子雲中には星間ガスや星間ダストが存在し、 それらが集まって星が形成される
- 星間分子
  - □ 現在、約190種類の星間分子が見つかっている
  - ∘ アミノ酸は未検出

#### キラル分子の発見 -Brett A. McGire (2016)

「Discovery of the interstellar chiral molecule propylene oxide(CH₃CHCH₂O)」

• 星間空間で初めてのキラル分子:酸化プロピレン(CH3CHCH2O)が、いて座B2分子雲で発見された。



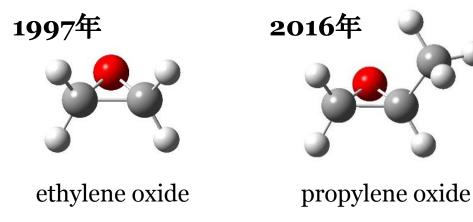
S-propylene oxide

R-propylene oxide

▶地球生命のホモキラリティ起源の解明につながる?

## 酸化エチレン(c-C<sub>2</sub>H<sub>2</sub>O)

酸化プロピレンと似た構造で、既に星間空間で 観測されているため、いくつか反応経路が提案 されている



#### 目的

酸化プロピレン生成過程の解明

生体分子のホモ キラリティ起源 について

酸化エチレンの生成反応の検証

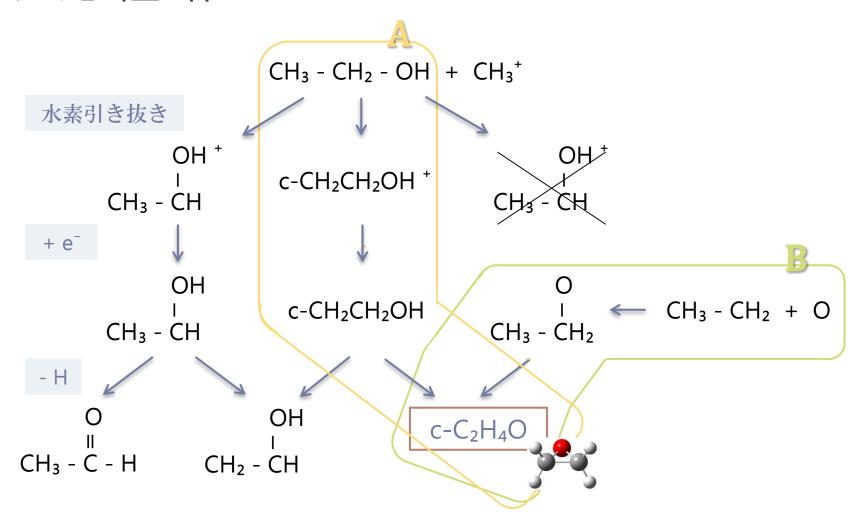
…卒業研究

#### Dickens(1997)

DETECTION OF INTERSTELLAR ETHYLENE OXIDE(c-C2H4O)

- 星間空間であることを考慮した酸化エチレンの 反応経路が提案されている。
- A)  $CH3^{+} + C_{2}H_{5}OH \rightarrow C_{2}H_{5}O^{+} + CH_{4}$ ,  $C_{2}H_{5}O^{+} + e^{-} \rightarrow c\text{-}C_{2}H_{4}O + H$
- B)  $O + C_2H_5 \rightarrow c-C_2H_4O + H$ 
  - ▶ 中間体C2H5Oができる場合について計算

## 反応経路



### 計算手法

- 密度汎関数理論(Density Functional Theory, DFT)
  - Kohn-Sham 方程式

$$\left[ -\frac{1}{2}\Delta + \sum_{A}^{N_{atom}} \frac{Z_A}{|r - R_A|} + \int \frac{\rho(r')}{|r - r'|} dr' + \mu_{XC} \right] \varphi_i(r) = \varepsilon_i \varphi_i(r)$$

ZA:原子番号

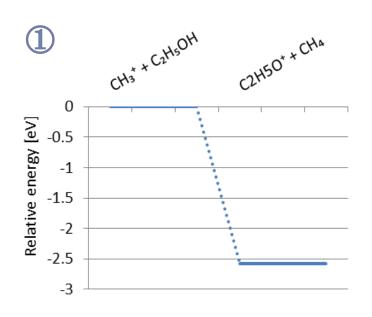
RA:原子核半径

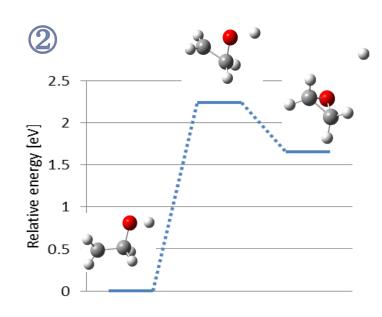
uxc:交換相関ポテンシャル

- 基底関数: B3LYP/6-31G\*
- Gaussian 09
  - 量子力学計算の標準的なソフトウェア

## A) 結果

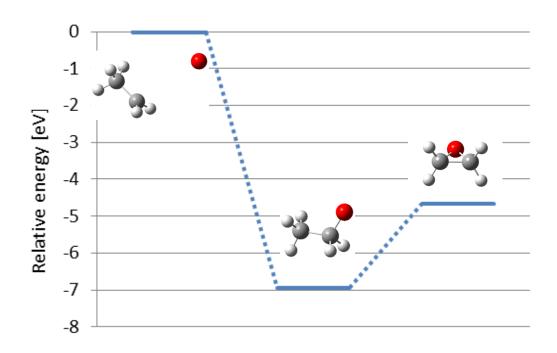
•  $CH3^{+} + C_{2}H_{5}OH \rightarrow C_{2}H_{5}O^{+} + CH_{4}, ... 1$  $C_{2}H_{5}O^{+} + e^{-} \rightarrow c\text{-}C_{2}H_{4}O + H ... 2$ 





# B) 結果

•  $O + C_2H_5 \rightarrow C_2H_5O \rightarrow c-C_2H_4O + H$ 



## 考察

- A) ①反応障壁がないので、容易に起こる。
  - ②C2H5Oから酸化エチレンが生成する経路は2.24[eV]程度の反応障壁があるが、C2H5O+とe-が反応する際のエネルギーを考慮すると、反応障壁を超えることができると考えられる。
- B) 中間体の方が安定。直接酸化エチレンができる経路は 今後検証する。

#### まとめ

・提案されている2つの反応経路について、中間 体の安定性と反応障壁の高さを検証した

- 今後の課題
  - □ 他の生成物が生成する経路との比較
  - ●他の考えられる反応経路についても計算